

第2言語習得がもたらす影響などを研究する 地域科学部のゼミにスウェーデン学生が留学中

INTERVIEW

私は日本人で英語を習得した人など、第2言語の習得が認知変化にどのように影響するかを研究しています。心理実験を通して日本語話者と英語話者では物事を感じ方や認識が異なることが証明されています。この実験をバイリンガルにも実施したところ、バイリンガル特有の傾向を発見。現在は、fMRI (磁気共鳴画像) を使い、心理実験中の脳の反応を分析し、第2言語習得による変化を科学的に解明する調査をしています。

日本語特有の一人称代名詞を研究するティムさんをはじめとした留学生の存在は日本人学生の英語学習の意欲向上に繋がりますし、海外の実情を知る絶好の機会にもなっています。国費外国人留学生として学ぶティムさんとはかく一生懸命。日本人でも読むのが難しい哲学の本を訳して学習するなど、学びに対する貪欲な姿勢が、周りの学生にもいい刺激になっていますね。



岐阜大学地域科学部
地域文化学科

笠井 千勢 准教授

INTERVIEW



国費外国人留学生制度で岐阜大学へ 「私」「僕」「俺」など日本語特有の 多彩な一人称代名詞について研究

岐阜大学大学院地域科学研究科
地域文化専攻

ティム リカード パウリ
パルムローズ さん
(スウェーデン)



「言語を学びながら、
さまざまな経験をして
います」とティムさん。

私は父の影響で幼少時代から日本の技術や文化に興味を持ちました。母国・スウェーデンのルンド大学に進学後は、英語を2年間、日本語を1年間学んだ後にサマースクールで岐阜大学を訪問。日本人講師と寮で共同生活をしながら日本語を学ぶだけでなく、郡上八幡でのホームステイも経験しました。「また戻って学びたい」と思った私は、ルンド大学の残りの2年間には、日本語の習得と国際文学の勉強に専念。卒業後、岐阜大学に1年間留学し、集中的に日本語と日本文化を学びました。帰国後は働きながら、文部科学省の国費外国人留学生制度に申し込み、平成27年4月から、改めて岐阜大学で

学ぶ機会を得ることができました。

笠井先生の研究室を選んだのは、ルンド大学で学んだ心理学実験のひとつを先生が担当されていたから。第2言語習得の認知変化の研究において世界的に有名な方で、サマースクールで知り合った友人が先生の元で学んでいた縁もあって仲介をお願いしました。先生は研究室で学ぶことを快諾して下さい、留学の手続きなども助けていただきました。

私が現在研究しているのは、第2言語話者の一人称代名詞の習得と使用の仕方についてです。日本語には「私」、「僕」、「俺」などの一人称代名詞があり、日本人は自分をより表現するためにこれらを使い分けています。

それは第2言語話者には非常に高度ですが、自分に合った代名詞を選ぶことができれば、自分自身の性格や、より適切な文脈などを表すことができ、外国人でも日本人のような流暢な日本語が話せるようになると考えています。つまり、言語のより深い習得は、自分の個性を適切に表現することにも繋がるかもしれません。

静かな環境にある岐阜大学は、スウェーデンと雰囲気が似ていますし、とても住みやすいです。また、先生が学生のために時間を割いてくれ、優しく接してくれますから安心して学業に取り組めます。3年の留学期間終了後は、日本で就職して、研究の成果を活かして働いてみたいですね。

国際ソロプチミストアメリカ日本中央リ ジョン「女子大学院生・女子学生奨学金」 の授与が決定し、報告会を行いました

平成28年7月5日(火)

大学院連合獣医学研究科2年生の佐野有希さんが、国際ソロプチミストアメリカ日本中央リジョン「女子大学院生・女子学生奨学金」を授与されました。この奨学金は、将来社会に貢献し得る優秀な女子学生を支援することが目的です。7月5日(火)には森脇久隆学長への報告会が行われ、佐野さんは「一層努力したい」と語り、ソロプチミスト岐阜の森川幸江会長からは「活躍を期待したい」とエールがありました。



岐阜大学を含む6者で「水素社会の実現に 向けた産学官連携協定」を締結しました

平成28年7月26日(火)

岐阜大学は岐阜県、八百津町、株式会社清流パワーエナジー、森松工業株式会社及びブラザー工業株式会社の5者と、「水素社会の実現に向けた産学官連携協定」を締結し、7月26日(水)には岐阜県庁で協定締結式が行われました。今後は6者で連携し、八百津町をモデル地域としてエネルギーの地産地消システムを構築して、新たな地域産業や雇用の創出を図る事業に取り組んでいきます。



平成28年度入学式を行いました

平成28年4月7日(木)・8日(金)

平成28年度入学式を4月7日(木)に長良川国際会議場で行い、学部学生1,361人、大学院学生573人が入学しました。森脇久隆学長が告辞を述べて激励し、応用生物科学部の青木佑奈さん、教育学研究科の横井みのりさんが宣誓を行いました。また、4月8日(金)には岐阜大学講堂で平成28年度大学院連合農学研究科と大学院連合獣医学研究科の入学式を行いました。



応援奨学生決定通知書交付式を 実施しました

平成28年4月8日(金)

岐阜大学では創立60周年を記念して岐阜大学基金事業を立ち上げ、その一環として応援奨学生制度を実施しています。これは、人物及び学業成績において優れ、他の学生の模範となる学生に奨学金を支給するものです。平成28年度岐阜大学応援奨学生決定通知書交付式では、森脇久隆学長から奨学生25名に通知書が手渡され、応援奨学生を代表して地域科学研究科のSUO TA JIさんが抱負を述べました。



オープンキャンパス2016を開催しました

平成28年8月8日(月)～10日(水)



今年も3日間にわたってオープンキャンパスを開催しました。高校生やその保護者など6,032人の参加があり、盛況の内に終了しました。各学部では、学科(課程)の紹介、模擬講義、体験実習、施設見学や入試説明などを実施しました。また、学生スタッフによるキャンパス案内企画や、岐阜大生とのトークコーナー、やさ茶の試飲等、様々な催しが行われました。多数のご来場ありがとうございました。

大学院連合農学研究科が The 5th UGSAS-GU Roundtable 2016を開催しました

平成28年8月29日(月)～31日(水)

大学院連合農学研究科は、南部アジア農学系博士課程教育連携コンソーシアム加盟校(南部アジア地域7カ国17大学)、インドネシア政府教育省高等教育総局及びオブザーバー1大学による「The 5th UGSAS-GU Roundtable 2016」(第5回農学系博士教育国際連携円卓会議2016)を開催しました。総勢91名の出席があり、調印式やシンポジウム等を通して活発な提案や意見交換が行われました。



平成27年度岐阜大学TOEICスコアアップ プロジェクト認定証交付式を実施しました

平成28年4月27日(水)

岐阜大学TOEICスコアアッププロジェクトとは、事務の国際化とサービスの向上を図るため、TOEICテストにおいて800点以上を取得した一般職員(事務職員及び技術職員)に奨励金を贈呈し、さらなる研鑽を奨励するものです。交付式では鈴木文昭グローバル推進本部長から、平成27年度に認定された9名に認定証が交付されました。その後、懇談会が開催され、活発な意見交換が行われました。



「第8回学生金型グランプリ」で学生 チームが優勝し、報告会を行いました

平成28年5月9日(月)

「学生金型グランプリ」は、金型を学ぶ学生たちが製作した金型や成形サンプルを展示し、実施内容を説明する大会です。岐阜大学の学生チームは、4月に開催された第8回において「プレス金型部門」で優勝、「プラスチック金型部門」で銀賞を獲得し、両部門併せて今年で3年連続の金賞を受賞しました。5月9日(月)には森脇久隆学長への報告会が行われ、学生は「一丸となったことで結果が出せた」と報告しました。



マレーシア国民大学と大学間学術交流 協定を締結しました

平成28年9月21日(水)

岐阜大学はマレーシア国民大学と大学間学術交流協定を締結しました。今回の協定締結により、工学研究科、応用生物科学研究科、連合農学研究科、教育学部を中心に、教育・研究活動の交流の拡大が期待されます。調印式では両大学長が互いの大学を紹介するプレゼンテーションを行い、協定書へ署名しました。質疑応答では各大学の特徴や今後の交流予定等について活発な意見が交わされました。



第1回同窓会連合会の集いを開催しました

平成28年9月26日(月)

岐阜大学と同窓会及び学部同窓会の連携をより一層推進することを目的に、第1回同窓会連合会の集いを開催しました。初めに各学部の同窓会会員に対して大学の動向や広報活動展開について説明があり、続いて特徴ある活動報告として、工学部化学・生命工学科の池田将准教授が「人工分子の精密設計から創るナノ材料～刺激応答性ゼリー状物質～」と題して研究を紹介しました。



本巣市・山県市・土岐市と 連携に関する協定を締結しました

平成28年5月27日(金)・7月1日(金)・8月2日(火)

岐阜大学では、活力のある地域社会の形成や発展、人材育成、教育文化活動等の推進に寄与することを目的に、地方自治体と連携に関する協定を締結しました。5月27日(金)には本巣市、7月1日(金)には山県市、8月2日(火)には土岐市と協定を結び、移住・定住、災害、防災・減災への対策推進や生涯学習講座の開催、教員志望学生の派遣機会の拡大等について協議を進めていきます。



第67回創立記念日行事を開催しました

平成28年6月1日(水)

創立67周年を記念する創立記念日行事が岐阜大学講堂で開催され、教職員や在学生、卒業生など約250名が参加しました。森脇久隆学長からは、岐阜大学の強みを一層伸ばし、社会での役割を果たしていく決意が語られ、また、同窓会連合会会長表彰と受賞者の講演も行われました。記念講演として第47回岐阜大学フォーラムも開かれ、岐阜県出身の芥川龍之介賞受賞作家で早稲田大学文学学術院教授の堀江敏幸氏が講演しました。

